

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会	<p>1 開会</p> <p>2 委員長挨拶</p>
司 会	<p>協議事項に入る前に、本委員会の会議の公開等についてご説明させていただきます。委員会設置要綱第6条第5項の規定に基づき、会議の公開が原則となっており、会議傍聴要領を定めたのでご確認をお願いします。</p>
司 会	<p>3 協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それでは、会長に議事の進行をお願いします。 ・本委員会の会議は、原則公開となっているが、本日の審議内容に、非公開とすべき事項はあるか。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・特段、非公開とすべき事項はない。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・特段の非公開事項はないとのことであり、本日の会議を公開するということでよろしいか。 ・それでは、公開して会議を進めたい。 ・協議事項の(1)、委員会の活動又は目指すもの（前回会議で課題となっていた事項の検討を含め）について、委員の皆様にご意見を伺ってみたい。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の会議で委員会の名前を変えたらどうかとの話があったが、GMY（行田をもっと良くする）委員会はどうか。目指すものとしては、災害に強いまちづくりにすることや、孤独死・自殺者を無くしていきたい。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・市民と行政が何をすれば繋がっていくのかを考え、今行われている軽トラ朝一とフリーマーケットを併せて開催するや、そこに商店の人達も品物を持ち寄って加われる場をつくるなどし、コミュニケーションの機会を提供するのがいいのでは。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会の名前は長いですが、内容をよく表現しているため変更する必要はない。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・行田を楽しむや知ったりするためのきっかけづくりができる委員会の名前をつけたい。 ・公益活動団体が具体的にやっていることを発表できるようなフォーラムなどを開催し、市民が応援できる仕組みを作りたい。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・委員が公益活動に対しての市民の声を直接ヒアリングしたり、インタビューすることで、今までと違った考え方が生まれてくるのでは。 ・目指すものとしては夢をもてる行田のまちづくりである。委員会の名前は、いろいろな人に説明しやすいように短くした方がよい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・公益活動に対しての補助金の支出や女性がはっきりと自分の主張を通せるような仕組みづくりが出来ればよい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会の名前については温かみがある方がよいが、特にこだわることはない。 ・人間関係やコミュニティを育成するようなイベントや研修を実施するのがいいのでは。市民がお互い助け合うような活動が出来ればよいと考えている。それには、小さなことから始めることが大事であり、活動をしていくなかで良いところは伸ばし、悪いところは止めればよい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・誰でもが自由に活動できることが重要であり、そのような場がどこかに作ることができればいいのでは。
オブザーバー	<ul style="list-style-type: none"> ・市民のニーズや行田市の課題を明確にする作業から始めていくのが確実である。 ・課題を解決するには、委員会のメンバーだけでは難しいことから、プレイヤーや応援団を募っていくことが必要となる。そして、人材が集まったところで、小さなことでもいいからまず動いていき、取組みの成果を広報しながら輪を広げていければよい。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会名は変えても変えなくてもよいが、短い方がよいとは感じる。公的には正式名称を使用するとしても、委員内だけで通用する通称名称のようなもの考えてもいい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいき行田委員会というのはどうか。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・公的な正式名称は変更せず、通称名称としていきいき行田委員会とする。 ・続いて活動に関してであるが、行田のことを思って活動される方には何らかの手当てや支援をしていくような仕組みを作っておかなければならないということは委員の共通認識である。ここで、委員の皆さんに話題提供として、前回の会議でも議題としてあったコミュニティセンターみずしろの旧派出所施設を、市民公益活動団体に対

<p>委員</p>	<p>して試験的に貸出しを行ったところであり、委員のなかに活動団体の方がいるので活動実績などの話を伺いたいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉の店として、2ヶ月間で37日間開店をした。市内の障害者団体が結束を固めて一つの事業を実施できたということで大きな成果があった。今後の課題としては、始めたことを定着させ、同じ場所で福祉の店を継続できたというのが活動者の希望である。今後、この委員会のなかでこの場所の使い方などが課題となってくると思うが、私どもの活動団体としては、今後も引き続き福祉の店として活動させていただきたいという要望があった。事業活動が目立たないという意見もあったが、事業の継続性が図れば看板などの設置を行いアピールができると考えている。
<p>議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コミセンの今回の場所は、行政が公益活動を行うためのお試しスペースとして検討しているなかで、福祉関係の方々が頑張っていたが、課題もある中で一定の成果が収められた。今後の活用にあたり、制約するという意味ではなく支援の意味を含めて、ルールを作っていかなければならないのでは。
<p>委員 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の貸出しにあたり、委員会に決定権があるのか。 ・平成21年2月に市民公益活動促進のための基本方針が作成され、それに基づく実施計画のなかに活動・学習の拠点づくりの項目がある。今年は実施計画の最終年度にあたり、生活課として空きスペースの検討をしているなかで、コミセンの旧派出所の有効利用を考え、行政財産の貸出し基準を基にすることや現状設備での活用を条件に、試験的に市民公益活動の実態に則した福祉団体に貸出したところである。試験的に行われた活動が一定の成果があった中で、市民公益活動団体が集まるこの委員会で貸出しを行っていくにあたってはどのようなルールがあればよいかを議論して、作ってもらえると、市民の方がいきいきと活動してもらえるためのきっかけづくりとなる施設になるのではないかと考えている。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他にも施設があるが、市内のなかにどのようなスペースがあって、市内全体を活性化していくにあたり、それぞれの場所に合わせた用途考えて行っていくのがよい。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コミセンのところは、お店の場所としてはよいが利用するには手狭

<p>議 長</p>	<p>である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内のどこにどれだけの行政が所管している空きスペースがあるなどの情報を委員会がもっていないことから、ルールづくりの原案として事務局に調べておいてほしい。 ・市民公益活動をしたいという方々のためにもルールづくりは必要である。
<p>委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・空きスペースというのは公共施設のものということでよいか。公共施設には施設ごとに元々のルールがあるのではないか。今回は、本委員会で、コミセンの一角を市民公益活動団体や市民公益活動の目的に達しているものに対して施設利用を認めようということによいか。 ・福祉の店の報告を聞いて、障害者の方の発表の場や来店する人とのコミュニティの場としてのほかに販売をしていくというものがある。コミセンの場所が販売に適しているかが大事な要素であり、障害者の方々が携わって継続性をもって販売をしていかなければならないことを考えると、福祉の店の運営としてこの場所にこだわる理由がわからない。商売を行う上で適している場所というのは大事である。コミュニティを先に作ろうとしても無理である。
<p>委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉の店の売上げは少ない。行田は観光立市にしようとしているが、観光客の方が忍城から古墳までの間に水城公園のところを歩いて通って、お店に寄ってお金を落としてもらえそうな一角になればいい。福祉の店もその役割を果たしたいし、障害者が自分達も働きながら行田のために役立つというような働き方をしたいという希望もある。 ・他の団体に貸すとしても、観光に役立つというような、コミセンの場所の性格も決めていかないと有効に活用されているとはいえない。市内を活性化させるという意味では、市民の目から見てもそこが活発であるかどうかが大変である。ルールの作り方次第では施設が空く期間があるかもしれないが、障害者団体は空いている限りは利用したい。市内の色々な場所が空スペースになっているということが、いきいきといえるのか市民に与える印象を考えて欲しい。
<p>事 務 局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コミセンは、コミュニティセンター条例に基づき市民の方々のコミ

議 長	<p>ユニティの醸成のために利用されている。今後、コミセンの旧派出所を、その館の目的で使うためにどのようなルールを作るのかといところを事務局で原案を作成して委員会にはかかっていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お願いします。皆さん意見をありがとう。 ・ (1) の目指すものについてはいかがか。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成24年度に実施する事業として具体的なものがあれば意見を伺いたい。 ・ 情報発信や人材育成を含めて自分達が研修していくものか、又は市民を巻き込んだイベントを実施していくのかなど意見をいただきたい。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民が、この市民公益活動推進委員会自体を知らない人が多い。市のためになることであるから、市民などに向けて講習会を開催してもよいのでは。市民の意識調査でも皆さんボランティアをしたいと言っている。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報は不足している部分もあり、自分達の意識もまだ整理されていない部分もあると思う。委員の意見を踏まえて事務局に情報を集めてもらい、次回委員会で検討していく。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業を検討していくにあたり、主催者や予算の状況が分からないと考えられない。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 皆さんが考えていただいた意見を基にして、本委員会として県補助金を取りにいかうと考えている。何か目的をもとに事業を行うのであれば委員の皆さんが主体となり本委員会が動くことになる。もし県補助金が難しい場合には、市民公益活動ということを考慮して協賛金を集めてもよい。
オブザーバー	<p><資料 コミュニティビジネスシンポジウムちらしの説明></p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ その他として何かあるか。 ・ それでは、以上をもちまして、本日の議題をすべて終了とする。これをもちまして、議長の職を解かせていただく。
司 会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以上をもって、第2回行田市市民公益活動推進委員会を閉会とする。 <p style="text-align: center;"><閉会></p>

